



外観 (CG)

## 宝箱 GH・集中支援室

特に難治といわれる強度行動障害者のための「集中支援室」を具える障害者のグループホームである。定員7名中4名は強度行動障害を持つ入居者であることを想定するが、他の3名は行動障害ある利用者と比較的相性の良い利用者である。

運営する社会福祉法人は、かつて強度行動障害利用者の精神病院への再入院という苦い経験をしている。そのことがこの「集中支援室付きのグループホーム」というアイデアにつながっており、民間の社会福祉法人が初めて取り組むこの事業には行政も注目している。建築的には、行動障害による突発行動、異常行動から入居者本人を守ることを第一に、スタッフのさまざまなサポートの形をイメージしながら計画を進めた。が、予測できないことも多く、建設中も試行錯誤はしばらく続くだろう。